物流現場における課題と改善点の見える化事業

国土交通省

調査の目的

○本調査は、物流の生産性をいかに高めるかという観点で、長時間に及ぶトラック運送業の総労働時間の要因のなかには、荷主都合による手待ち時間の発生や、輸送・荷役作業・付帯作業等の長時間化など、トラック運送事業者のみの努力では改善が困難な点もあることから、物流現場における実態や、発荷主、着荷主、トラック運送事業者の三者の間における改善に向けたコミュニケーションに係る課題、改善点等を明らかにし、今後の労働時間短縮に向けた対策検討の基礎資料を収集することを目的に実施する。

調査の対象

○中部運輸局管内5県（愛知、静岡、岐阜、三重、福井）に所在する荷主（製造、卸、小売）で、一定の規模のある500事業所にアンケート調査。
○アンケート調査の回答のあった事業所の内、取組を進める事業所10カ所をヒヤリング調査

調査の内容

○荷主の事業所（製造、卸、小売）の物流担当者あてにアンケート調査票を送付し、荷主における3つの物流現場について調査。
　A. 発荷主として出荷時の現場、 B. 発荷主として納入先における納入時の現場、 C. 着荷主として入荷時における現場

○主な調査内容は、3つの物流現場それぞれの実態、及び取引先との物流条件の交渉、情報交換の状況など。
　①時間指定の有無、積み込み時間の把握状況、手待ち時間の発生の有無、手待ち時間の把握状況および発生理由
　②附帯作業の発生の有無および作業時間
　③トラック事業者からの改善要望の有無および改善状況
　④取引先との物流条件等の交渉や情報交換の状況
　⑤ドライバー不足の実感、改善基準告示の内容把握、契約の書面化の状況　　等

○手待ち時間や附帯作業の発生現場、待ち時間や作業時間、発生理由、改善に向けた情報の流れなどについて3つの物流現場の実態や業種（製造、卸、小売）による傾向を分析する。

調査の期間

平成27年11月末　対象事業者へアンケート調査票を配布
　　12月　　アンケート調査票を回収
平成28年1月　ヒヤリング調査　10件
平成28年2月　調査の集計結果、報告書のとりまとめ

資料3－1